

平成21年度
第1回櫛引地域審議会
会議録



期 日：平成21年6月26日（金）

場 所：櫛引公民館多目的ホール

平成21年度 第1回櫛引地域審議会会議録（概要）

日 時 平成21年6月26日（金）午前10時分開会～午後12時15分閉会

場 所 櫛引公民館多目的ホール

出席委員（五十音順）

五十嵐繁、伊藤 忠、上野 進、金内勝雄、斎藤三紀、佐久間泰子、
佐々木はつ子、澤川宏一、鈴木光秀、田中 敦、長南源一、畠山 健、
畑山久恵、前田藤吉、松浦 章、松浦安雄、渡会 昇 以上17名

欠席委員（五十音順）

齋藤賢一、成田新一、松田安男 以上3名

市出席者

櫛引庁舎 支所長 山口 朗、次長兼総務課長 平藤博巳
産業課長 佐久間忠勝、建設環境課長 佐藤正和
市民福祉課長 今野勝吉、健康福祉主幹 田村廣実
教育課長 八重幡久喜、総務課総務地域振興主査 渋谷 清
総務課総務地域振興班主任 佐藤直樹
本 所 総務部長兼政策調整室長 加藤淳一、同室調整第一課長 柴田昌明
同室政策調査課長 永寿祥司、同室主査 宮崎清男、
同室係長 五十嵐一憲、同室調整主任 五十嵐亜希

次 第

（新委員への辞令交付）

- 1．開 会
- 2．あいさつ
- 3．職員紹介
- 4．報 告
 - （1）平成21年度予算及び主な事業の概要について
 - （2）地域コミュニティ活性化の取り組みについて
 - （3）農業農村課題調査の実施について
 - （4）そ の 他
- 5．閉 会

【 会議の概要 】

午前 10 時開始

(新委員への辞令交付)

このたび新しく委員となられた 7 名 (別紙委員名簿参照) を代表し、松浦安雄委員へ山口支所長が辞令を交付した。

- 1 . 開 会 平藤次長兼総務課長
- 2 . あいさつ 齋藤三紀会長
山口支所長
- 3 . 職 員 紹 介 平藤次長兼総務課長が庁舎、本所職員を紹介
- 4 . 報 告

(1) 平成 21 年度予算及び主な事業の概要について

山口支所長が市広報予算特集号等により平成 21 年度予算内容を説明し、平藤次長兼総務課長、田村健康福祉主幹、佐久間産業課長、佐藤建設環境課長、八重幡教育課長が庁舎主要事業調書により所管する主な事業の内容を説明した。



齋藤三紀会長

ただいま平成21年度予算及び主な事業の概要についての説明があった訳ではありますが、説明の中にもありましたように、昨年度において今後10年間の総合計画が策定され、それに従って実施計画が立てられ進められていくものであります。

なお、櫛引地域に関係する主な事業についても説明がありましたので、皆さんからいろいろとご意見を伺いたいと思います。田中委員。

田中敦委員

私の方から三つほどお伺いしたいと思います。ひとつは資料1の1頁、会計別予算総括表の中の老人保健医療特別会計についてですが、前年度に比較して11億3千万円ほど減額となっておりますが、これはどのような原因によるものなのか。

二点目は資料1の9頁、投資的経費の中で公共下水道事業特別会計についてですが、予算額として16億円ほど計上されてはいますが、今現在鶴岡市全体の下水道普及率はどの位になっているのかを教えてくださいたいと思います。

最後になりますが、資料2の庁舎投資主要事業全体で3億3千万円ほどの予算となっておりますが、これに出てこないもの、つまり予算要求はしたが計上されなかった事業がどれくらいあったのか、出来る範囲で教えてくださいたいと思います。

今野市民福祉課長

初めに老人保健医療特別会計についてであります。昨年4月より後期高齢者医療制度がスタートしたことにより、予算面でも後期高齢者医療特別会計が設けられ、そちらに移行をしているものであります。

前年度予算につきましては、診療報酬の請求が月遅れで請求されることなど、その見込まれる予算を計上していたものであります。本年度については請求漏れ及び過誤処理対応のみとなることから大きく減額となったものであります。

なお、老人保健医療特別会計については、請求等の時効が3年であることから平成22年度までの存続となるものであります。

佐藤建設環境課長

鶴岡市の下水道普及率ということでお尋ねがあった訳ではありますが、現在上下水道に関する事務事業については本所下水道課及び水道部の所管となっており、ただ今ご説明できるデータを持ち合わせておりませんので、後ほど調べてお知らせしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

平藤次長兼総務課長

三点目のご質問についてであります。庁舎所管の投資事業についてはほぼ予算計上されているものと考えます。

なお、一つ挙げるとすれば庁舎空調設備維持管理費において緊急性等の面から予算計上されなかったものがあります。

齋藤三紀会長

他にございませんか。澤川委員。

澤川宏一委員

観光関連についてお聞きしたいと思います。産直めぐりについては鶴岡市の観光情報センターということで指定され、看板の設置とパンフレットの配置を行っているものでありますが、どうも観光情報センターというスタンスがはっきりしないような状況にあります。近々関係者の会議があるとは聞いておりますが、他地域の観光情報センターの状況等について教えていただければと思います。

佐久間産業課長

観光情報センターの設置については、今年度より鶴岡市の観光連盟が事業主体となり実施しているものでありますが、これは合併後これまでは旧市、旧町村単位における観光施設がバラバラな状態で PR してきたという反省がありまして、観光客から見ればその場で鶴岡市全体の観光施設、見所などの位置が把握できれば大変良いことであり、4月30日から各地域に1箇所観光情報センターを設置して看板の設置と観光パンフレット、ガイドマップ、各地域の観光パンフレット等を配置し PR しているものであります。

なお、今月30日で設置から2ヶ月を経過するものでありますが、その効果や対応等まだ十分に検討されていない状況でありますので、現時点でこういった反省点や課題があるのかや今後の対応について30日に各施設の担当者及び行政の観光担当者が集り協議をすることとなっております。

それから、櫛引地域における観光情報センター設置場所の選定につきましては、年間50万人を超える来客者がある産直めぐりにお願いをしたものであり、他の地域においては鶴岡地域では「でがんす」、藤島地域では「四季の里楽々」、羽黒地域では「いでは文化記念館」、朝日地域では「月山あさひ博物村」、温海地域では「道の駅しゃりん」となっております。

なお、昨日も観光の情報連絡会議がありましたが、それぞれの地域で対応がバラバラという点もあるなど、いろいろと反省点もあるという状況でありますので、30日に協議したうえで観光客のニーズに合うように鶴岡市全体として対応をしていきたいという趣旨でスタートしたものであり、今後もより良い方向に調整しながら情報提供を行っていきたい考えでありますので、ご理解をお願いいたします。

澤川宏一委員

なお要望であります。配置されているパンフレットについて、旧市街地については詳しく記載されておりますが、新鶴岡市のマップが全然無い状況にあります。

お客さんから場所の問い合わせを受けたときなどマップがあれば説明もし易いことからマップまたはパンフレットへの取り込み等対応をお願いします。

佐久間産業課長

新鶴岡市のマップについても30日の会議において協議されると思いますが、なお本所所管課へも連絡をいたします。

齋藤三紀会長

他にございませんか。佐々木委員。

佐々木はつ子委員

資料 2 の庁舎ソフト事業にある黒川能に関する部分についてですが、黒川能は東学区でも黒川地区以外の子供たちも謡い等いろいろと取り組んでいる訳ですが、能座員が不足している中で、せめて東学区若しくは櫛引地域から募集を行うとかそのような考えはないものか、というのは能行事においても男児が少なくなっていることから女兒の参加で行われているものもあり、黒川地区だけで見るとやはり先細りになっていくことが予想され、庁舎としてどのような考え方をしているのか伺いたいと思います。

もうひとつは、国際交流事業におけるラファオ市訪問団の事です、全市で募集を行っているようですが、申込者における旧市町村の割合はどのようになっているのかを教えてくださいたいと思います。

平藤次長兼総務課長

黒川能についてのご質問であります、現時点では黒川能保存会及び両座においてどのような考えを持っているのかをまだ把握していない状況にあります。

については、地域審議会においてこのような話題が出ましたことをお伝えしておきたいと思います。

なお、子供の演能関係については産業課長よりお答えします。

佐久間産業課長

黒川能における子供の演能については先ほど水焰の能の説明をさせていただきましたが、4年前から東小学校の児童につきまして黒川地区だけでなく、学区全体の子供たちに学校を通してお願いしまして参加希望者に水焰の能の前段に演能していただくこととしております。

これは先ほど後継者等の問題もありましたが、黒川地区以外の子供たちからも関心を持ってもらうことや、黒川能を広く PR したいという考えから取り組んでいるものであります。

山口支所長

ラファオ市訪問団の参加状況につきましては、全市を対象に募集を行っているものであります、現在その参加状況が分かる資料を持ち合わせておりませんので、後ほど確認してお知らせいたします。

(2) 地域コミュニティ活性化の取り組みについて

永寿政策調整室政策調査課長が概要を説明した。

齋藤三紀会長

ただ今説明あった件について何か質問等ある方いらっしゃいませんか。

田中委員、昨年度地区民生児童委員協議会、地域、自主防災組織等において災害時等における要援護者のマップを作成した訳ですが、そのことについて少しお話をいただければと思います。

田中敦委員

災害時等における要援護者マップについては、全国の民生児童委員協議会の指示により要援護者のリスト及びマップを作成しなさいとの事であったため、櫛引地区においても早めに作成した方が良好だろうという考えから、昨年8月頃から準備に入り、今年の2月に完成し各関係機関へ配布したものであります。

その中で、こういった方を要援護者として捉え、リストに載せるかといったことが各地区及び担当者の考え方等もあり、地区によってその人数にはばらつきがありますが、櫛引地区全体では295名となっております。

今後は年1回の見直しをしながら、災害時等に備えて行きたいと考えております。

齋藤三紀会長

ありがとうございました。何か質問等ある方いらっしゃいませんか。上野委員。

上野進委員

私から二つほどお伺します。ひとつは、公民館類似施設整備補助金については今年度で終了とお聞きしているが、地区公民館については地区コミュニティ活動の要であり、様々な備品の購入についても年次的に計画しながら行っている状況にあり、やはり地区単独では負担が大きくなることから、ぜひ来年度以降も継続してほしいがどうか。

二つ目は現在上山添三千刈線の道路改良工事が進められている訳ですが、山添高校前付近の改良済部分と未改良部分の取り付けが急に狭くなるような状態であることから大変危険と感じており、なんらかの対策、対応してもらえないものかお伺いします。

八重幡教育課長

はじめに公民館類似施設整備補助金についてであります。第12次の最終年度が今年度となることから各地区公民館より要望を受け、21年度予算要求を行ったものであります。残念ながら当初予算計上されなかったものであります。

しかしながら、まだ活用していない地区及び今年度事業の活用を見込んでいた地区もあることから、支所長を通し本所へなんとか予算化をお願いしている状況であります。

なお、昨日庁舎の分室課長及び社会教育課の課長との会議があり、話題としても取り上げたものであります。今後も継続して予算要求していく方向で確認したものであります。

また、公民館施設整備補助事業についても話があり、これはまだ調整されていない項目であります。具体的な統一に向けその方向性によりやく目途がついたのかなと感じているものであります。

佐藤建設環境課長

上山添三千刈線の取り付け部分につきましては、再度現場を確認し、交通安全上不具合があるようであれば注意看板設置等も含め、出来る限りの対応をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

齋藤三紀会長

公民館類似施設整備補助金の件ですが、地区公民館は地区活動の拠点となっているものであり、この事業によってかなり整備が図られてきた経緯があることから、今後も継続をという要望になるもので、これは自公連でも課題になったものであると思いますが、自治公民館については櫛引だけではないものであり、他の地域の状況がどうなっているのか分かれば説明願いたい。

八重幡教育課長

ただ今の公民館類似施設整備補助金については櫛引地域と温海地域のみとなっているものであります。これは昨日の会議でも話ができましたが、地域の特性もあり、これからは両地区についてはこの補助金を継続していこうということでその方向性が決まったものであります。

齋藤三紀会長

前田委員、なにかご意見等ございませんか。

前田藤吉委員

新聞等の記事に地域コミュニティが崩壊するという記載があったようですが、今日自分勝手な人が多くなってきており、地域においても昔と違って意思の疎通が難しい時代になってきたと感じております。しかし、私の在住する丸岡地区においては、公民館を中心として毎日のように集まり等があり、そういったことでも繋がりがあるといことは大変良いことだと考えております。

これからの地域の課題としては、先ほどいきいき健康クラブの話がありましたが、これに参加も出来ない、外出するのが容易でない高齢者が増えてきていると感じております。こういった方々は今後ますます増えるものであり、地域内においても取り組みのあり方を考える時期にきているのではないかと感じております。

(3) 農業農村課題調査の実施について

五十嵐政策調整室係長が概要を説明した。

齋藤三紀会長

それではただ今説明あった件について何か質問等ある方、五十嵐委員どうぞ。

五十嵐繁委員

現在進められている農業施策については、農地の集積による大規模化となっており、市においてもその方向で進められている訳だが、この不況で土地を貸した人がリストラ等により職を失ったため、土地を返してもらって農業に戻ろうとしても契約によりなかなか難しい状況等にあることから、行政として何らかの対応策を講じてほしい。

齋藤三紀会長

ただいまのは要望ということによろしいでしょうか。他にございませんか。

それでは私からですが、この調査の実施時期はいつ頃を予定しているのか。

五十嵐政策調整室係長

個別調査につきましては、先日担当者の説明会を行っておりまして、6月末から7月中旬に実施する予定であります。また地域調査については、10から11月に実施する予定となっております。

齋藤三紀会長

それではこれまで3つの事案について説明を受けたわけですが、全体を通してご意見等がある方いらっしゃいませんか。松浦安雄委員

松浦安雄委員

これまでの説明を受け、また各資料も拝見させていただきましたが、私はこの地域が大きな壁にぶつかっていると感じております。というのは、今の急激な人口減少、それに伴い地区内の小学校も今のまま存続できるのかというような問題。また、黒川能を初めとする地域の伝統文化を今後も維持していくことができるのかというような問題が多く出ています。戦争中であっても黒川能を演ずるのは男性に限られた訳ですが、今はそれが出来ない状況となっております。

これは受け継ぐ人たちの意識が変化してきているためであり、伝統文化をいかに守っていくかということは、これまでの変遷、こういった経過を辿ってきたのかを学んだうえで新しい考えを取り入れていくことが必要と私は考えます。

また、黒川能については近年大きな会場でたくさんのお客さんを対象に演ずる機会が多くなったわけですが、神事能として原点に戻る、つまり黒川能は黒川で演ずることが大事なのだということをもっと若い世代に教えることが必要と感じております。

それから、流動人口をいかに活用して地域文化、伝統文化を守っていくか、ということにもっと視点をおく必要があるのではないのでしょうか。

少子高齢化、人口減少等この現状が急激に変わる見込みは無く、7～8年先の状況など目にみえる状況にあります。今後は20～30年という長いスパンで計画をたてながら、若い世代も伝統を守ってきた人もみんな意識を変えて物事を進めていく必要

があるのではないのでしょうか。

なお、これは提言として申し上げておくものであります。

齋藤三紀会長

ありがとうございました。他にございませんか、長南委員

長南源一委員

直接この地域に関することではありませんが、地域の公立病院が医師不足によって診療科目の閉鎖等を余儀なくされているというような話題をよく耳にしますが、地域の拠点病院であります荘内病院について、医師不足による診療科目の閉鎖や診療日の減少、また経営面での状況等分かる範囲で結構でありますので、その実態をお聞かせ願えればと思います。

加藤総務部長兼政策調整室長

確かに全国的に公立病院において医師不足等によりその経営が困難だというような話がありますが、荘内病院におきましても医師の確保という問題は大変大きなものであります。これまでは新潟大学及び山形大学より大変協力をいただきましてなんとか確保をしてきたところであります。全国的には大学の中での医師の囲い込みというような状況も発生しておりまして、なかなか地域の病院には廻してもらえない状況のようであります。

荘内病院につきましては、今のところなんとか医師の確保はできており、診療科またはベッド数の減少といった事態には至っておりません。

なお、経営面につきましては、お手元の資料1の15頁中段に病院事業会計負担金・補助金及び出資金ということで、一般会計より21年度で13億4千2百万円ほど病院会計へ援助を行っておりまして、昨年度から見れば約2千万円の減少となっておりますが、これについては新病院建設にかかる償還金の関係で減額になったということであり、実質は昨年度以上に援助を行っているという現状でありまして、医師の確保あるいは救急医療の拡充に努めているところであります。

齋藤三紀会長

他にございませんか、金内委員。

金内勝雄委員

コミュニティづくりに関して、当櫛引地域は自治公民館が地区活動の活発な拠点となっており、他のコミセン方式の地区とは根本的に違っているものであります。

なお、櫛引と近いのが温海となっている訳ですが、私はこの自治公民館活動方式がコミセン方式よりもはるかに住民へ密着していると感じており、これからも大事にしていきたいと考えておりますが、今後もより良い活動を行っていくために、先ほど備品の補助金について本年度で終わりという説明がありましたが、なんとか継続して取り組んでいく方向で検討してほしいと思います。

二つ目は、グランドゴルフ場及び丸岡城跡公園整備についてですが、これらは地域の住民も非常に心待ちにしている施設でありますので、出来る限り早期の完成に向け取り組んでほしいと思います。

三つ目は、黒川能の関係が先ほどから話にてしておりますが、能の名物である大地踏の主演男児が地区ではもう1、2年で途切れてしまう、そのような危機にあるようです。また、役者の高齢化、氏子の減少等様々な問題があるようであり、今後黒川地区及び氏子の人たちに地区以外の人がどういった協力ができるのか、これまでも戦争や出稼ぎ全盛の大変な時代があった訳ですが、私は今日の状況の方がむしろ大変な気がしますので、地区以外の人への能への参加などいろいろと検討をする時期にきているのではと考えます。

齋藤三紀会長

ただいまのは要望ということでしょうか。他にございませんか。

それでは議論も出尽くしたようでありますので、質疑を終わりたいと思います。

続いて(4)その他であります。庁舎の方から何かありますでしょうか。特に無いようでありますのでこれで全部を終了したいと思います。

本日は活発なご意見、ご質問をいただいたことに感謝申し上げます、以上をもちまして協議内容を全て終了し、議長の任を終わりたいと思います。

7. 閉 会

平藤次長兼総務課長

長時間ご審議を頂きましてありがとうございました。以上をもちまして平成21年度第1回櫛引地域審議会を閉会させていただきます。(午後12時15分)

